



## 免責及び危険引受同意書

よく読み、空欄を全て埋めてから署名して下さい。

私 \_\_\_\_\_ は、スキン及びスクーバダイビングにおいて大きな怪我を負ったり死亡したりする固有の危険が伴うことを認識していると、本書によって確認します。圧縮空気を使用するダイビングには、減圧症、塞栓症、その他の高圧/空気膨張による怪我など、再圧チャンパーでの治療が必要となる固有の危険があることを理解します。さらに、オープンウォーターダイビングのトレーニングや認定に必要なダイビングトリップでは、時間的及び距離的に、そのような再圧チャンパーから遠く離れた場所で行う場合もあるということを認識します。このような再圧チャンパーが近辺にないダイビングの場所であっても、ダイビングを続行するという選択をします。

私は、この免責及び危険引受同意書(同意書)において、私が参加することを希望したダイバートレーニング活動及びコース全てを含み、適用することを理解します。この活動やコースには、アルティチュード(高所)、ポート、洞窟、AWARE(環境保護)、ディープ、エンリッチド(高濃度)・エア、フォトグラフアー/ビデオグラフアー、ダイバー・プロパルジョンピークル、ドリフト、ドライスーツ、アイス、マルチレベル、ナイト、ピーク・パフォーマンス・ポイアンシー、サーチ&リカバリー、リブリーザー、水中ナチュラリスト、ナビゲーター、レック(沈船)、アドベンチャーダイバー、レスキューダイバー、その他の独特なスペシャルティコース(以下“プログラム”と称する)を含み、またそれに限定されません。

インストラクター、ダイブマスター、プログラムを提供する施設

PADIアメリカ(株)、その支部、子会社、それらの従業員、役員、代理人、請負業者、権利継承者(以下“免責関係者”と称する)の何れもが、私がこのプログラムに参加したことが起因し、またそれが免責関係者を含むいかなる関係者の過失で起こった場合でも、直接間接を問わず、私、私の家族、財産、相続人または権利継承者が受けた怪我、死亡、それ以外の破損について、一切の責任を負わないことを理解し同意します。

このプログラムに参加を許可されたことを考慮し、私が、学科講習あるいは限定水域やオープンウォーターでの活動等を含む同プログラムに参加している間は、このプログラムについてのリスクを、それが想定外であってもなくても個人的に全て承知します。さらに、このプログラムに登録参加したことに関連し、プログラム参加中または認定取得後に起きたことについて、私、私の家族、財産、相続人または権利継承者がこのプログラム及び免責関係者に対して請求、訴訟を起こすことはありません。

過去または現在の病状が、私のプログラム参加に禁忌であるかもしれないと認識しています。私は精神的にも肉体的にも健康でダイビングが出来る状態にあります。アルコールの影響を受けておらず、ダイビングには禁忌である如何なる薬物の影響下にもありません。もし、薬を服用している場合は、医師の診断の

もと薬の影響下でもダイビングをしても良いとの許可を受けます。プログラム参加中に私のインストラクターに病歴について伝えるのは私の責任であり、もしそれを怠った場合は自分の責任となることに同意します。また、スキン及びスクーバダイビングは肉体的に激しい運動であり、このプログラム中は自分自身の努力が必要であることを理解します。それが起因して、心臓発作、パニック、過呼吸、溺死などが起こった場合でも、この危険性については予測しており、免責関係者に対してその責任を負わせることはありません。

私は成年に達しており、この免責及び危険引受同意書に署名する資格があります。もしくは私の親権者、保護者の文書による同意を得ています。ここに記載されている条件は、契約であって単なる注意書きでないことを理解しており、また本書が私の法的な権利を放棄することを承諾し、自分の自由意志でここに署名しました。本同意書のいずれかの規定が強制力を持たない、または無効であると分かった場合、その規定は本書から分離されることに同意します。その場合この同意書の残りの規定については、強制力を持たない規定が最初からなかったものとして、解釈します。

本書において、私が参加するプログラムに関連する全ての活動について、私がこの同意書に署名した日から1年以内に参加した場合、この同意書が有効であると表明し同意します。

私は、免責関係者に対する私の訴訟権利を放棄するだけでなく、私の相続人、権利継承者、受益者が私の死亡について免責関係者を訴える権利も破棄することを理解します。さらに、私にはそういう権利があると表明し、私の相続人、権利継承者、受益者は私の免責関係者への表明のため、異議を要求することは出来ません。

私 \_\_\_\_\_ は、本書により私のインストラクター、ダイブマスター、プログラムを提供する施設、PADIアメリカ(株)、及び全ての関連者、上述の免責関係者について、人身傷害、物品損害、原因不特定の不法死亡など何であれ、それが免責関係者の過失であっても、直接間接を問わず、一切の責任から免除することに同意します。

私は、自分そして私の相続人を代表して署名をする前に、本書を読んで免責及び危険引受同意書の内容について十分な知識を得ています。

参加者署名

日付(年月日)

親または保護者署名(60歳以上の場合は、親族の署名)

日付(年月日)

## 病歴/診断書 - 参加者記録(機密情報)

署名する前によく読んでください。

この病歴/診断書は、スクーバ・ダイビングに伴う危険性と、トレーニング・プログラムの中で必要とされる活動の告知を確認するためのものです。以下のスクーバ・トレーニング・プログラムに参加するには、あなたの署名が必要となります。下記に必要な事項を記入してください。

インストラクター名 \_\_\_\_\_

施設名 \_\_\_\_\_

施設住所 \_\_\_\_\_

署名をする前に、この声明書をよく読んでください。スクーバ・トレーニング・プログラムに参加するには、病歴についてのセクションを含むこの病歴/診断書のすべての項目に記入する必要があります。未成年者の場合には、親権者もしくは保護者の署名が必要です。

(see reverse)



ダイビングは刺激的で労力を要する活動です。正しいテクニックを使用して行動すれば、ダイビングはきわめて安全なものです。しかし、確立された安全手順にしたがわない場合には危険が伴います。

安全にスクーバ・ダイビングを行うには、極端な肥満や体調不良であってははいけません。ダイビングは状況によっては激しい活動であるため、呼吸器系と循環器系が健康で、なおかつすべての体内空間が正常である必要があります。心臓疾患、風邪をひいている、鬱血がある、てんかん、ぜんそく、重度の医学的トラブルがある、アルコールや薬物の影響下にある人は、ダイビングをするべきではありません。ぜんそく、心臓疾患、その他の慢性疾患がある、または投薬を受けている場合は、プログラムに参加する前に医師とインストラクターに相談するほか、終了後も定期的に診察を受けてください。また、スクーバ・ダイビング中の呼吸と圧平衡についての重要な安全ルールをインストラクターから学ぶ必要があります。スクーバ器材の不適切な使用は、深刻な傷害の原因となることがあります。これらの器材の安全な使い方について、資格を持ったインストラクターの直接の監督下で指導を受けなければなりません。

この病歴/診断書や病歴のセクションについてさらに質問がある場合には、署名をする前に医師と再度検討してください。



## 病歴質問書

### 参加者のみなさまへ：

この病歴書は、レクリエーション・スクーバ・ダイビングに参加する前に、医師の診断を受けるべきかどうかを判断するためのものです。病歴があると回答したことで、あなたにダイビングをする資格が欠けるということはありません。その回答は、ダイビングを行う際の安全性に影響する条件があなたにあることを示し、医師のアドバイスを必要とすることを意味します。

過去および現在のあなたの病歴について、以下の質問に「はい」または「いいえ」でお答えください。回答が不明の場合は「はい」と回答してください。あなたに当てはまる項目がある場合は、スクーバ・ダイビングへの参加前に医師の診察を受けることになります。担当インストラクターが、医師へ持参するPADI病歴/診断書とレクリエーション・スクーバ・ダイバーの健康診断ガイドラインをお渡しします。

- \_\_\_ 現在妊娠中ですか。または妊娠の予定はありますか？
- \_\_\_ 定期的に処方された薬、もしくは市販の薬品を服用していますか（避妊薬はのぞく）？
- \_\_\_ 45才以上で、以下の1つ以上の項目に当てはまりますか？
  - 現在、パイプ、葉巻、タバコを喫煙している
  - 現在診療を受けている
  - コレステロール値レベルが高い
  - 高血圧である
  - 家族に心臓発作や卒中の病歴がある
  - 糖尿病である（食事療法のみの場合も含む）

### 以前に以下の病気に罹ったことがある、もしくは現在かかっている

- \_\_\_ ぜんそく、呼吸時の喘鳴（ぜいぜいする）、運動時の喘鳴
- \_\_\_ 花粉症およびアレルギーの激しい発作や頻繁な発作
- \_\_\_ 頻繁な風邪、副鼻腔炎、気管支炎
- \_\_\_ 肺の病気
- \_\_\_ 行動障害、精神障害、心臓障害（パニック発作、閉所恐怖症もしくは広場恐怖症）
- \_\_\_ てんかん、発作、けいれんを起こす、またはそれを抑えるための薬を服用している
- \_\_\_ 偏頭痛を繰り返し起こす、またはそれを押さえるための薬を服用している

- \_\_\_ 気胸
- \_\_\_ 意識喪失や気絶の経験がある（完全に、もしくは一時的に意識を失ったことがある）
- \_\_\_ 乗物酔いになることがよくある（船酔いや車酔いなど）
- \_\_\_ 赤痢または脱水症状で治療が必要である
- \_\_\_ ダイビング事故や減圧症の経験がある
- \_\_\_ 中程度の運動ができない（例えば1.6kmの距離を12分以内で歩くことができない）
- \_\_\_ 過去5年間に意識を失うような頭部の損傷があった
- \_\_\_ 腰痛を繰り返し起こす
- \_\_\_ 腰部の手術を受けたことがある
- \_\_\_ 糖尿病になったことがある
- \_\_\_ 腕、腕、脚に、手術、外傷、骨折の後遺症がある
- \_\_\_ 高血圧症の経験がある、または血圧をコントロールする薬を服用したことがある
- \_\_\_ 肺（胸部）の病気または手術の経験
- \_\_\_ 心臓疾患の経験がある
- \_\_\_ 心臓発作の経験がある
- \_\_\_ 狭心症や心臓、血管の手術を受けたことがある
- \_\_\_ 耳や副鼻腔の手術を受けたことがある
- \_\_\_ 耳の病気、聴覚障害、平衡感覚障害になったことがある
- \_\_\_ 飛行機内や高地で圧平衡に問題があった経験がある
- \_\_\_ 出血やその他の血液障害の経験がある
- \_\_\_ ヘルニアの経験がある
- \_\_\_ 潰瘍や潰瘍手術の経験がある
- \_\_\_ 結腸瘻造設術の経験がある
- \_\_\_ 薬物もしくはアルコール依存になったことがある

私の病歴についての上記の情報に間違いはありません。私は現在あるいは過去の健康状態を明らかにしなかった場合、記載漏れの事項に関する責任を負うことに同意します。

参加者署名

日付（日/月/年）

親権者もしくは保護者署名（60歳以上の場合は、親族の署名） 日付（日/月/年）



## 安全潜水標準実施要項に関する 了解証明書

よく読んでからご署名ください。

この証明書は、スキン・ダイビングおよびスクーバ・ダイビングのために設定された安全潜水の実施要項について、あなたが説明を受けたことを示すものです。これらの実施要項は、ダイビングに関する更なる理解を得ることで、より快適で安全なダイビングを実施することを目的としています。声明文に署名をすることは、あなたがこれらの安全潜水実施要項を十分に理解したことを証明します。署名に先立ち、声明文をよく読んで、その内容について検討してください。あなたが未成年者の場合には、保護者（親権者あるいは後見人）の署名も必要となります。

私、\_\_\_\_\_ は、ダイバーとして以下の事項に従うべきであることを理解しています。  
(氏名を楷書で)

1. 心身共にダイビングに適した良好な状態を維持します。アルコールや薬物の影響下でダイビングは行いません。継続教育を通じてダイビング・スキルの向上をはかり、一定期間ダイビング活動を休止した場合は、コントロールされた環境下でスキルの再確認を行い、ダイビング・スキルに習熟した状態を保ちます。
2. ダイビングを行う場所を熟知するようにします。もしその場所に不慣れな場合は、その地域に詳しい情報源が提供する正式なオリエンテーションに参加します。今まで経験したどのダイビング・コンディションよりも状況が悪い場合には、ダイビングを延期するか、条件のよい他の場所を選択するようにします。ダイビング活動は、自分の受けたトレーニング経験の範囲内で行うようにします。ケーブ・ダイビングのための特別なトレーニングを受けていない限り、ケーブ・ダイビングは行いません。
3. 手入れが行き届いて故障がなく、信頼のおける使い慣れた器材を使用します。各ダイブの前には、器材の適合性と機能性の点検を行います。スクーバ・ダイビングを行う際には、BCD、低圧インフレーター・システム、残圧計、バックアップ空気源、ダイブ・プランニング/モニタリング装置（ダイブ・コンピュータあるいはRDP・ダイブ・テーブルのいずれか使用しなれている方）を使用します。認定を受けていないダイバーには自分の器材を使用させません。

4. ダイブに関する説明や指示をよく聞き、自分のダイビング活動を指導する監督者のアドバイスに敬意を払います。
5. すべてのダイビングを通し、パディ・システムを忠実に守ります。連絡方法、離れ離れになった場合に再集合するための手続き、緊急時の手順を含むダイビングの計画をパディと共に立てます。
6. ダイブ・プランニング（ダイブ・コンピュータあるいはダイブ・テーブルの使用法）を習得します。すべてのダイブを減圧不要潜水で行い、安全のためのゆとりを持たせます。水面下で深度と時間をモニターするための器材を使用します。最大の深度を、自分の受けたトレーニングのレベルと経験の範囲内に制限します。1分間18mの速度で浮上します。安全を心がけて下さい。ダイビングの際は常にゆっくりと浮上します。さらなる安全のため、5メートルの地点で3分以上の安全停止を行います。
7. 適切な浮力を維持します。BCDに空気が入っていない状態で中性浮力となるように、水面でウェイトを調整します。水面下では中性浮力を保ちます。水面での移動や休息時にはプラス浮力とします。ウェイトは簡単に取り外せるようにしておき、ダイビング中にトラブルに見舞われた場合はプラス浮力を確保します。少なくとも一つのセーフティシグナル・グッズ（シグナル・チューブ、ホイッスル、鏡など）を携帯します。
8. ダイビング中は正しく呼吸をします。圧縮空気を呼吸している時は、絶対に息ごらえやスキップ呼吸を行わず、息ごらえ潜水に過度のハイパーベンチレーションをしないようにします。水面下では過疲労を避け、自分の限界内でダイビングを行います。
9. 可能な限り、ボート、フロート、その他の水面用補助ステーションを使用します。
10. 漁業規制や潜水旗についての法律を含め、ダイビングについての地域の法律や規制を理解し、それに従います。

私は上記の声明書を読み、疑問に対して納得のいく回答を得ることができました。私はこの実施要項の重要性と目的を理解しています。この実施要項は私の安全と楽しみのためにあり、これらに従わない場合は、ダイビング中に危険に身をさらすことになりうるということを認識しています。

参加者署名

日付（日/月/年）

親権者もしくは保護者署名（60歳以上の場合は、親族の署名） 日付（日/月/年）